

次代に繋げていく新たな未来を展望したまちづくりを
皆様とともに一歩ずつ着実に進めてまいります。



新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本市行政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、7月に発生した西日本豪雨により、市内各地域においてこれまでに経験したことのない甚大な被害が発生いたしました。被害に遭われた皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、復旧、復興に向け、多くの皆様にご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。今後も、一日も早い復旧に向けて、関係機関や関係者の皆様と協力して

で全力で取り組んで参ります。

本市は、昨年、市制施行120周年を迎えました。その節目となる年において、文化庁から全国最多3件目となる日本遺産の認定をいただきました。昨年11月に開催いたしました「北前船寄港地フォーラムin尾道」においては、多くの皆様にご参加をいただくとともに、全国に向け本市の歴史や、その魅力を紹介することができました。

また、多くの皆様のご協力のもと開催することができました「サイクリングしまなみ2018」においても、島しょ部地域の魅力を国内、また、海外に向けて発信できましたことに改めて感謝申し上げます。

このように全国に向け本市の魅力が発信される中、サイクルシップの就航や新たな宿泊施設の開業、また、本年3月の完成に向けて工事が進む新たな尾道駅など、民間の投資も続いており、「キラリ光る尾道」のまちづくりが各方面で進んでおります。

更に本年は、本市にとって尾道港が開港して850年を迎える節目の年となります。先人たちが築き上げてきた港町としての発展を礎に、次代に繋げていく新たな未来を展望したまちづくりを市民の皆様、また、関係者の皆様とともに、一歩ずつ着実に進めてまいりますので、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

尾道市長 平谷 祐宏

市民の皆様の多様な声を市政に反映できるよう、
議会の責務を果たしてまいります。



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会の各般にわたる活動に対しまして、格別のご理解やご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成30年7月豪雨が発生し、広島県をはじめ、岡山県と愛媛県を中心に未曾有の災害をもたらしました。本市でも、各所で土砂崩れや河川の氾濫等により、尊い命が奪われ、多くの家屋が浸水するなど甚大な被害を受けました。改めまして、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、尾道市におきましては、本年、尾道港開港850年を迎える節目となる年になります。先代から受け継がれてきた天然の良港に恩恵を受けた海事都市尾道が確かな歩みを進めるため、今後も、財政の健全化に向け、持続可能な行財政運営を求めるなど、議会の果たすべき使命と役割はますます大きくなると考えております。

市議会においては、議会基本条例に掲げる「身近で開かれた議会」を目指し、議会改革に誠心誠意取り組んでおります。引き続き、市民の皆様の多様な声を議会での議論を通して市政に反映できるよう、議会の責務を果たしてまいります。また、議会の諸活動に関しては、議会だよりの紙面充実を行うなど、積極的な広報広聴に努めてまいり所存です。

市民の皆様のご意見、ご要望を真摯に受け止め、市政に反映させてまいりますので、本年もご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

尾道市議会議長 吉田 尚徳